

第3回

世界遺産フォーラム in 長崎

開催のお知らせ

世界遺産フォーラム in 長崎 実行委員会
代表幹事 金子 叔司（長崎商工会議所）
代表幹事 林 一馬（長崎総合科学大学）

世界遺産フォーラムは、高野山、鞆に続き、第3回を長崎で開催いたします。多くの教会を擁する長崎では、「長崎の教会群を世界遺産にする会」を中心に運動が始められ、昨年に「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」として暫定一覧表に掲載されました。現在、登録申請に向けた作業が進むとともに、観光客増に伴う環境悪化防止と秩序ある公開を目指すNPO「世界遺産長崎チャーチトラスト」が活動を開始しています。

今回のフォーラムは、①世界遺産登録に関する潮流の変化を学ぶとともに、②観光客が増える中で信仰の場である教会や周辺の環境悪化防止と品格ある活用について議論します。また、前日には、北九十九島の美しい海に面する黒島教会（佐世保市）と田平教会（平戸市）を船で巡り、実地調査を兼ねてカクレキリシタン時代の追体験を行います。

長期間の弾圧を経て復活を遂げた人々が建てた教会は、心を打つものがあり、いかに守るかは私たちの課題です。皆様、ふるってご参加ください。なお、エクスカッションとして①ドロ神父ゆかりの地である外海（1日コース）、②鉄川与助が建てた教会が多い上五島（1泊2日コース）も用意していますので、ぜひご利用ください。

主 催 世界遺産フォーラム in 長崎実行委員会
（世界遺産長崎チャーチトラスト、長崎の教会群を世界遺産にする会、
長崎商工会議所、長崎青年会議所、長崎県建築士会長崎支部）

後 援 長崎県、長崎県教育庁、長崎県観光連盟、長崎経済同友会

♣ 黒島教会 (1902年竣工、国指定重要文化財)



フランス人のマルマン神父の指導により建築された明治期を代表する三層構成の教会。

基礎に黒島(御影)石を積み、床に有田焼のタイルを貼るなど地方色を有し、その後の教会建築に大きな影響を与えた。

♣ 田平教会 (1917年竣工、国指定重要文化財)



田平地区はドロ神父らの指導で外海や黒島から移住した信徒が開拓した。八角形のドームを頂く鐘塔を付けた重層屋根構成の教会堂は鉄川与助が設計施工した煉瓦造教会としては最後のもので、意匠的にも優れている。

12月5日 金 実地調査 & 情報交流会

実地調査 8時半受付

長崎の教会は、入り組んだ海岸に多く、海上から巡ることによりカクレキリシタン時代の生活を追体験できる。今回は、北九十九島周辺の黒島教会、田平教会をチャーター船とバスで回る。

「時津→黒島→田平→長崎」と
「長崎→空港→田平→黒島→時津」の

2ルートで実施

(参加費 5000 円<昼食付き>)

情報交流会 19時～

情報交換を目的とした交流会

長崎市内：四海楼(チャンボン発祥の店)(会費 6000 円)



12月6日 土 本会議 (長崎市内：長崎ホテル清風、会費 2,000 円<昼食付き>)

講演 10時～

演題 「平泉の経過について」

講師 千葉信胤 平泉町世界遺産推進室室長補佐

演題 「世界遺産登録の動向について」

講師 西村幸夫 東京大学大学院教授 (ICOMOS前副会長)

パネルディスカッション 13時～ 15時半

「長崎の教会群の世界遺産登録と秩序ある公開」

コーディネーター

五十嵐敬喜 法政大学教授

パネリスト

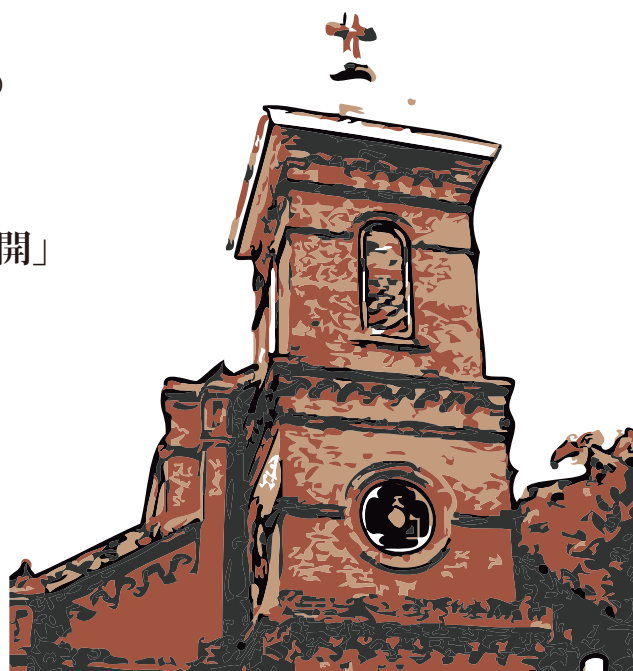
林 一馬 長崎総合科学大学学長

浅野ひとみ 長崎純心大学准教授

後藤 太栄 高野町長

高谷 基彦 京都市都市計画局都市景観部景観政策課長

左海 冬彦 国土交通省 国総研 住宅計画研究室長



事務局

〒850-0036 長崎市元船町 7-13 世界遺産長崎チャーチトラスト内(担当:脇田、榮)

Tel&Fax 050-3444-1922 (不在時は 090-5298-2648)

E-mail: wakita.yasuhiro@think-nagasaki.or.jp (連絡は原則としてメールでお願いします)

URL: <http://www5.cncm.ne.jp/~ngs-ch/>